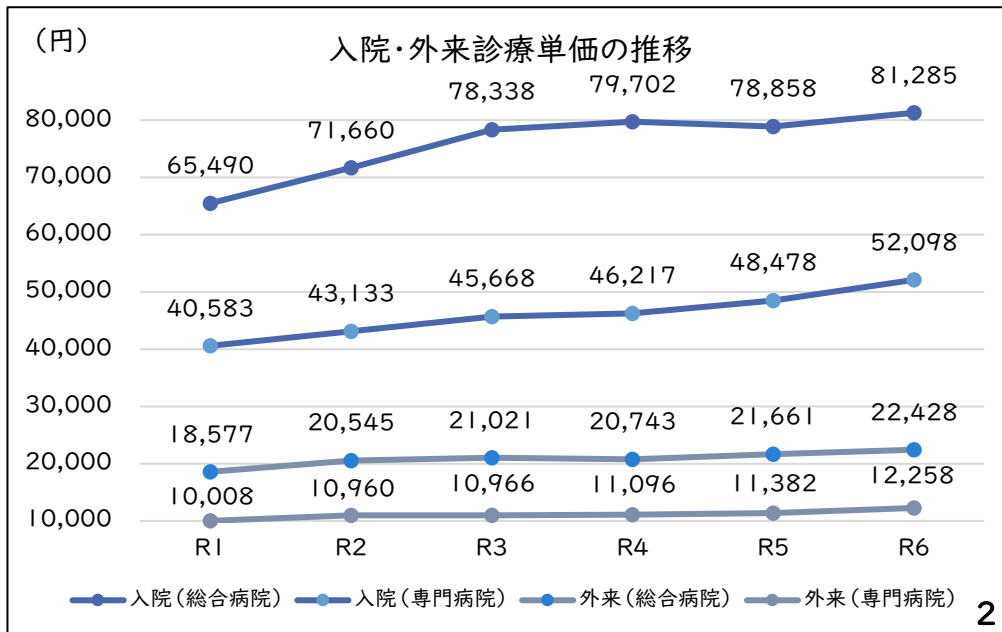
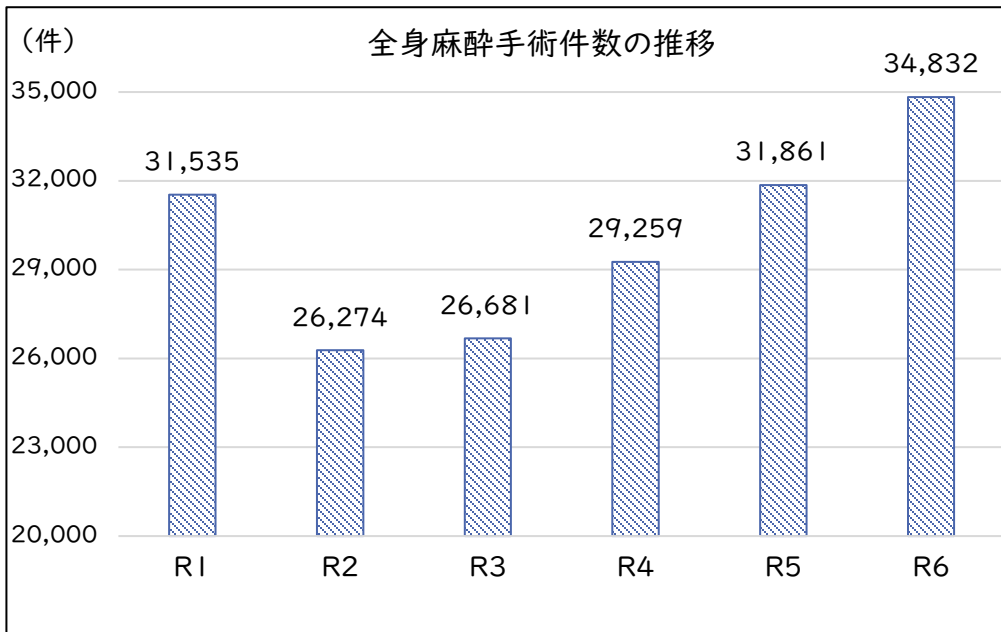
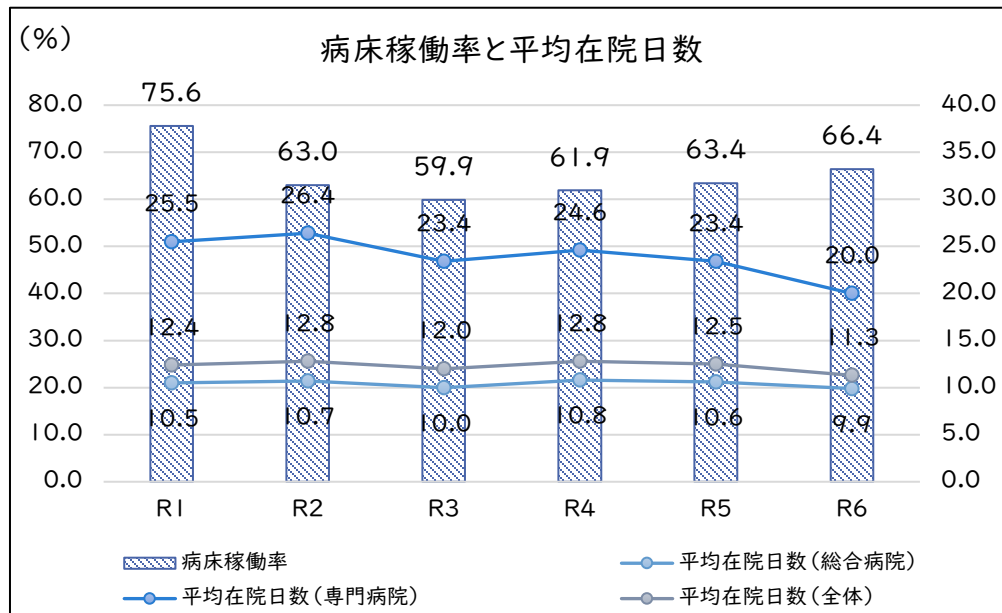
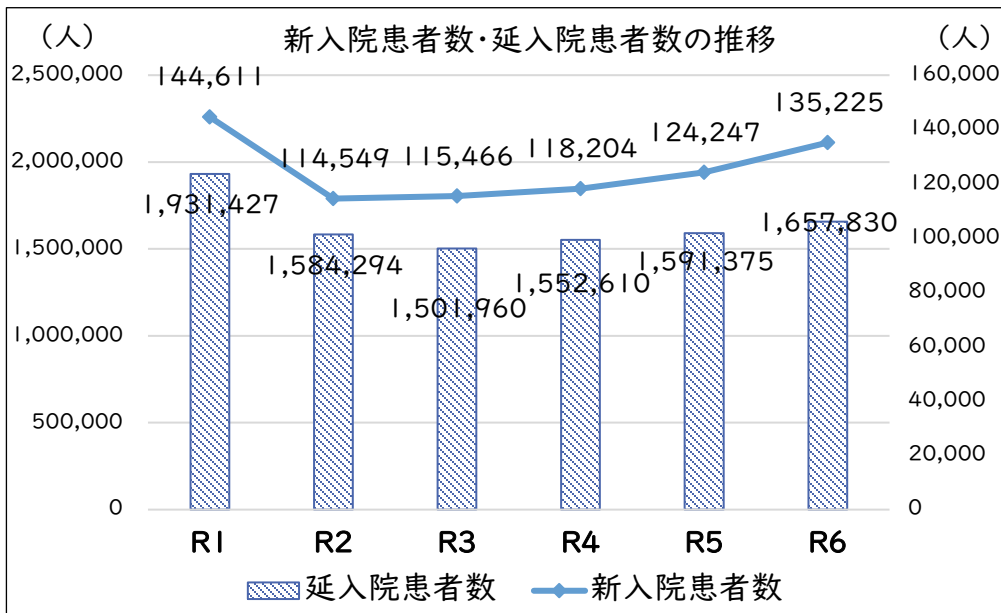


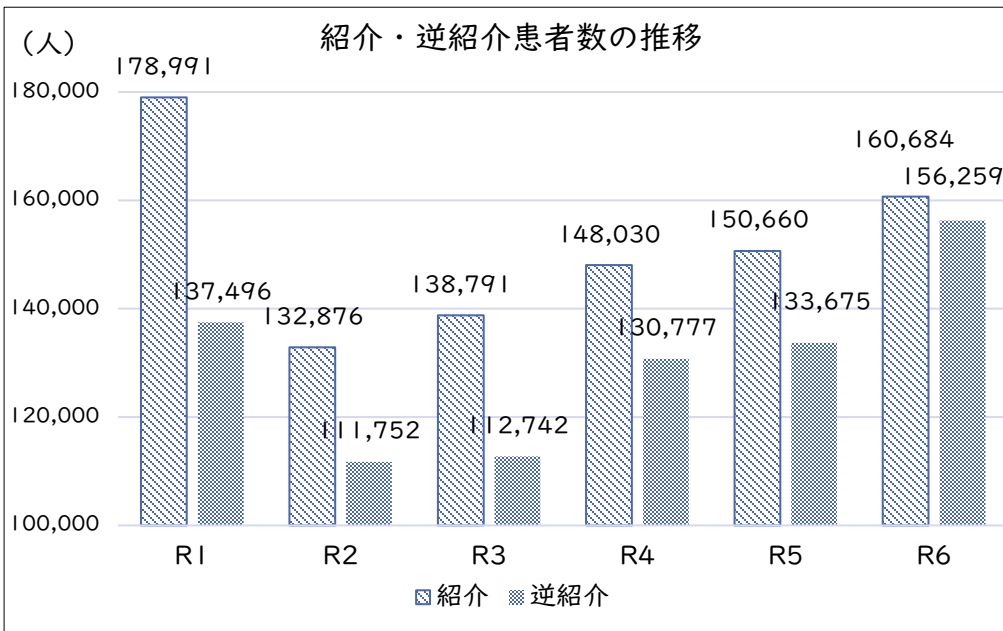
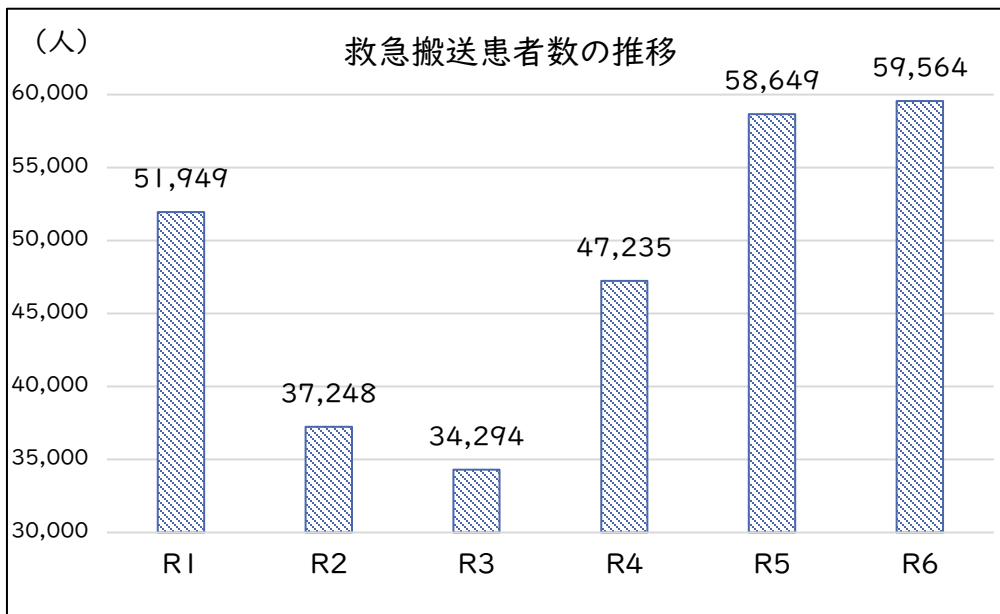
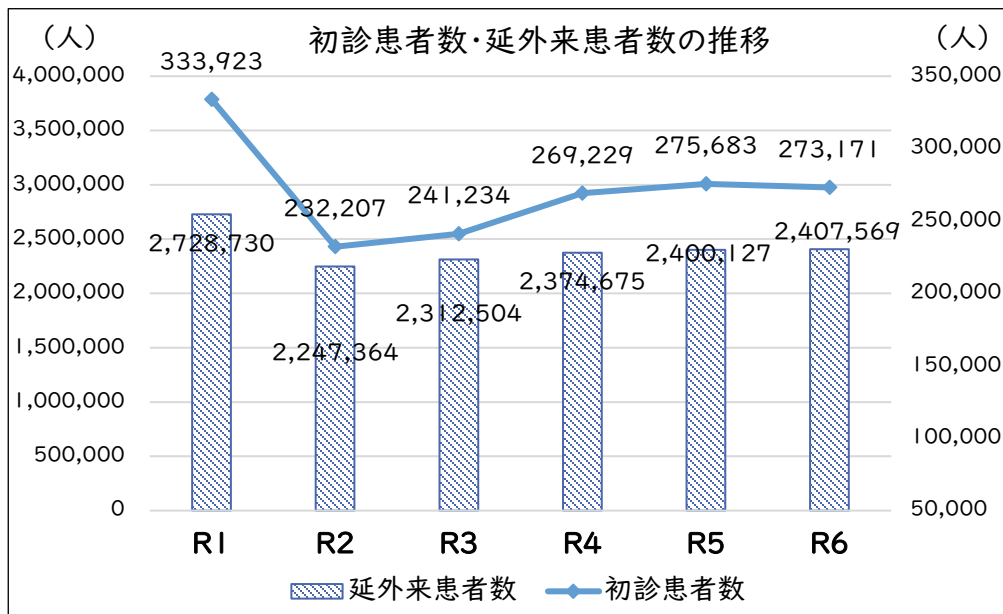
東京都地方独立行政法人評価委員会
令和 7 年度第 1 回都立病院分科会

令和 6 年度 業務実績等報告 補足資料

1 令和6年度 主な経営指標等



令和6年度 主な経営指標等



<概況>

- ✓新入院患者数は全ての病院で昨年度実績を上回り、年間実績で10,978人増(約8.8%増)、延入院患者数は66,455人増(約4.2%増)となったものの、コロナ禍前の実績までは戻っていない
- ✓病床稼働率はインフルエンザ等の冬季流行型感染症の影響で、90%を超える病院もあったが、全体の年間実績では66.4%であった
- ✓全身麻酔件数は昨年度時点でコロナ禍前の実績を上回り、更に前年度と比較し約9.3%増加した
- ✓入院単価は平均在院日数の短縮や手術件数の増加に伴い8万円を超え、外来単価は化学療法の外来移行に伴い上昇している
- ✓初診患者数は、昨年度までは発熱外来患者が多かった影響もあったが、受療行動の変化等の影響もあり、コロナ禍前には戻っていない
- ✓救急搬送患者数は昨年度同様、コロナ禍前の実績を上回っている
- ✓紹介患者数は、連携医訪問等に注力したことで約6.7%増加し、逆紹介患者数はかかりつけ医等への逆紹介推進に伴い、約16.9%増加した

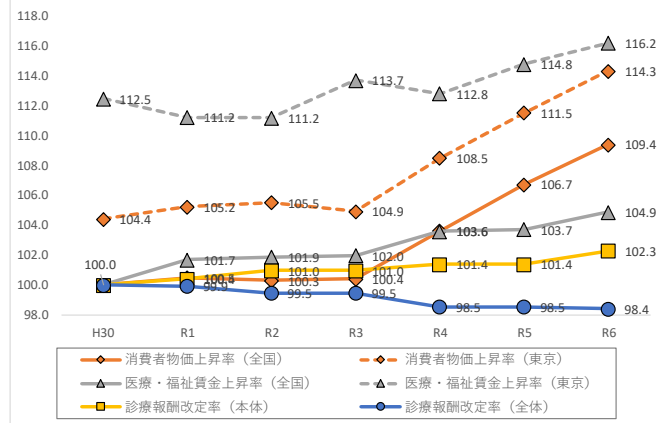
2-1

令和6年度決算 ～概要～

【機構を取り巻く経営環境の変化】

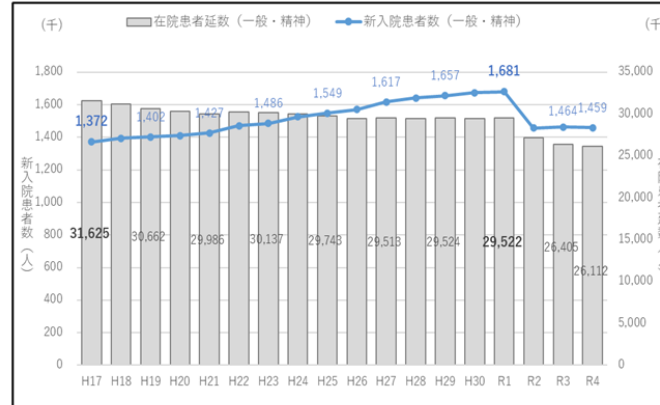
- 近年の急激な物価高騰などによる環境変化が、新たな経営の悪化要因として医療機関全般に大きな影響を及ぼしている
- 診療報酬改定は本体部分は微増（薬価込みの全体では下がり基調）ではあるが、物価や賃金は大幅に上昇しており、特に都内の上昇率は著しく、診療報酬改定率との乖離が年々拡大している状況
- 都内の延入院患者数や病床利用率は、平均在院日数の短縮化や外来・在宅移行の影響を受け減少傾向の中、コロナ禍で大きく減少し、現在も以前の水準に戻っておらず、経営環境は引き続き厳しい状況

診療報酬改定率と賃金・物価上昇率の推移



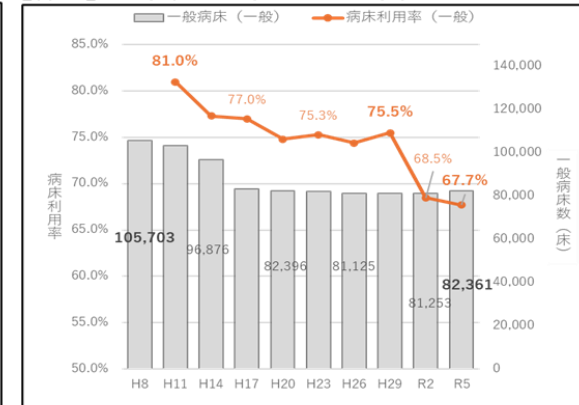
出典）賃金上昇率：毎月勤労統計調査結果（厚労省、東京都）より作成
物価上昇率：内閣府「中長期の経済財政に関する試算（令和7年1月試算）」より作成

【都内】在院患者延数と新入院患者数の推移



出典：厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」より作成

【都内】病床数と病床利用率の推移



【令和6年度決算の概況】

- 厳しい状況の中、断らない救急の徹底や地域との連携強化等による収益確保に加え、共同購入の推進やDX関連作業の内製化等による支出削減への取組により、医業損益は前年度から44億円改善
- しかしながら、コロナ補助金収益の減少や固定資産除却損等の発生により、前年度から56億円悪化となる239億円の当期損失を計上

2-2

令和6年度決算 ～損益～

(単位：億円；税抜)

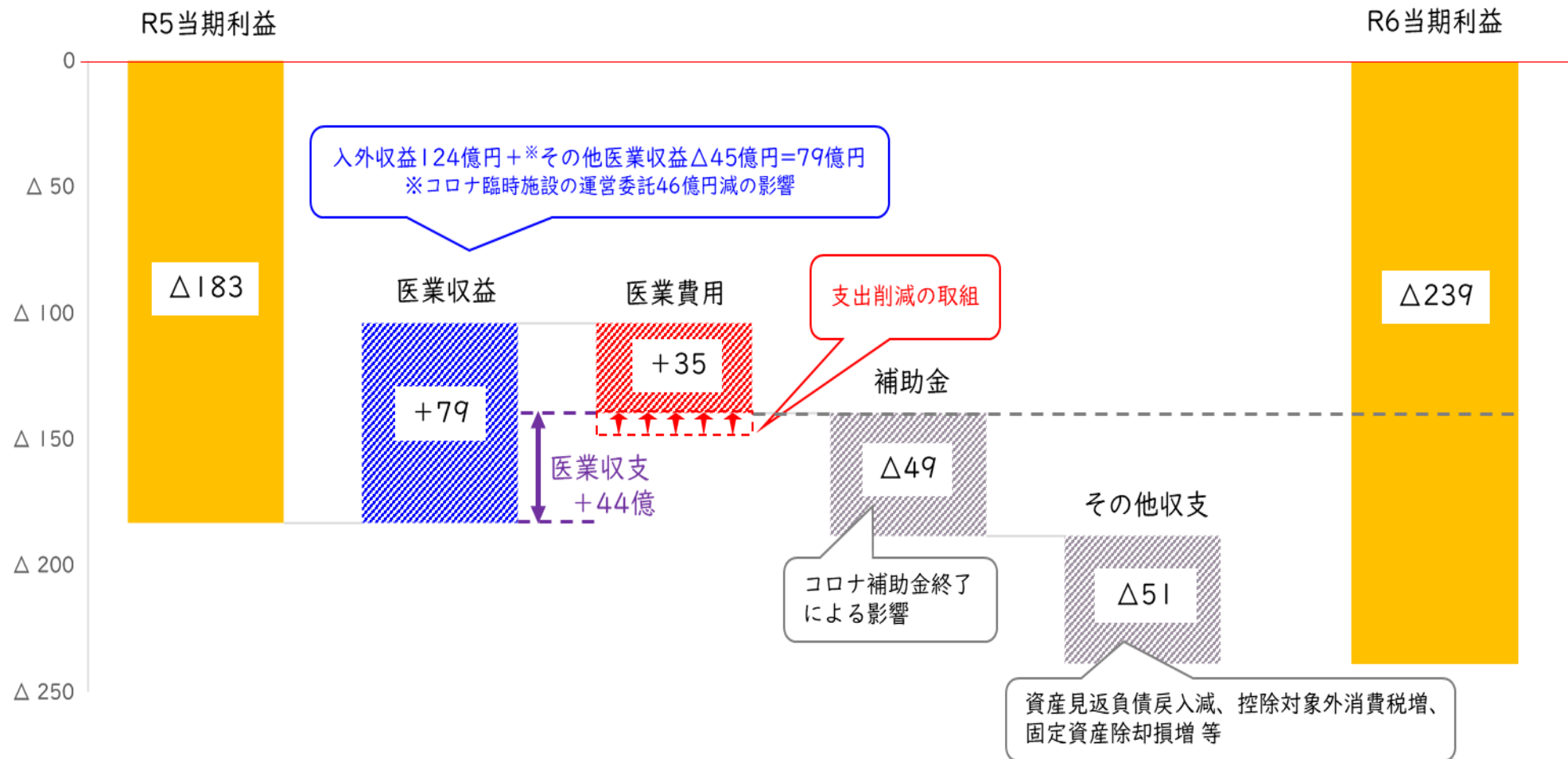
	令和6年度 決算	前年度比
1 医業収益	1,779	+79
2 -) 医業費用	2,459	+35
3 医業利益(損失)	△ 680	+44
4 +) 負担金・交付金	523	△4
5 +) 補助金	14	△49
6 -) 一般管理費	24	+5
7 ±) その他収支	△ 60	△25
8 経常利益(損失)	△ 226	△38
9 ±) 臨時損益	△ 13	△19
10 当期利益(損失)	△ 239	△56

	令和6年度 決算	前年度比
1 医業収益	1,779	+79
2 入院収益	1,229	+104
3 外来収益	503	+20
4 その他医業収益	46	△45
5 医業費用	2,459	+35
6 給与費	1,179	+24
7 材料費	314	+16
8 光熱水費	37	+2
9 委託料 (PFI含む)	614	△8
10 賃借料	30	+3
11 減価償却費	223	△3
12 研究研修費	15	+0
13 その他	47	+1

2-3

令和6年度決算 ～増減分析～

(単位：億円；税抜)



2-4

令和6年度決算 ～病院別～

(単位：百万円；税抜)

	医業収益	前年度比	医業費用	前年度比	医業利益	前年度比	負担金	交付金	補助金	経常利益	前年度比	当期利益	前年度比
1 広 尾	9,072	+550	15,664	+480	▲6,592	+70	2,622	51	58	▲3,981	▲525	▲3,962	▲489
2 大 久 保	5,924	+19	8,830	▲60	▲2,906	+78	1,023	0	25	▲1,917	▲477	▲2,403	▲967
3 大 塚	9,893	+1,109	14,081	+82	▲4,188	+1,027	2,750	0	187	▲1,400	+799	▲1,379	+732
4 駒 込	30,878	+2,355	37,736	+1,749	▲6,858	+606	5,984	1	190	▲2,161	▲595	▲2,797	▲1,268
5 豊 島	9,421	+476	12,878	+367	▲3,457	+109	2,023	1,269	50	▲358	▲200	▲342	▲395
6 荏 原	7,193	+201	10,615	+308	▲3,422	▲107	1,698	855	40	▲963	▲690	▲940	▲670
7 墨 東	26,040	+1,876	33,196	+1,226	▲7,157	+651	6,114	0	233	▲1,803	▲268	▲1,768	▲232
8 多 摩	30,927	+3,557	37,970	+2,144	▲7,043	+1,413	5,159	0	224	▲3,285	▲784	▲3,305	▲804
9 北 部	9,637	+1,139	11,759	+659	▲2,122	+480	1,301	1	46	▲1,057	+188	▲1,035	+29
10 東 部	6,239	▲95	8,885	▲168	▲2,646	+73	1,162	0	26	▲1,533	▲23	▲1,519	▲12
11 南 部	6,985	+653	9,348	+369	▲2,363	+284	1,196	0	27	▲1,282	▲129	▲1,297	▲146
12 神 経	4,706	+330	8,442	+384	▲3,737	▲54	3,524	0	14	▲428	▲267	▲419	▲258
13 小 児	14,556	+848	22,239	+766	▲7,683	+82	6,963	0	240	▲811	▲767	▲784	▲739
14 松 沢	6,114	▲379	13,286	▲167	▲7,172	▲212	6,487	0	54	▲599	▲563	▲580	▲560
15 が ん 検	285	▲94	994	▲82	▲710	▲12	0	618	0	▲132	▲31	▲519	▲418
16 病 院 計	177,869	+12,546	245,924	+8,058	▲68,055	+4,489	48,005	2,794	1,415	▲21,711	▲4,333	▲23,048	▲6,197
17 本 部	1	▲4,650	1	▲4,528	0	▲122	1,403	128	0	▲883	+561	▲816	+628
18 総 合 計	177,870	+7,896	245,926	+3,530	▲68,055	+4,366	49,408	2,922	1,415	▲22,594	▲3,772	▲23,863	▲5,569

自律的運営に向けた主な取組

収益確保

■地域との連携強化

コロナ患者受入れにより影響を受けた地域との連携を強化するため、積極的な医療機関訪問を実施

	令和5年度	令和6年度
連携医訪問件数	1,418件	2,609件

■レセプト点検チームによる収益確保と算定漏れ防止に向けた活動

- ①DPCコーディングの点検
DPC対出来高請求金額比較で減収上位200症例を点検
- ②指導料・医学管理料・加算等の点検
重点調査項目をリスト化し、効率的に幅広く点検
- ③施設基準の点検
届出項目と請求状況の突合、届出漏れの精査
- ④機能評価係数Ⅱの点検
救急補正係数を重点的に分析・点検

■経営力強化WGによる収入確保対策

14病院のスケールメリットを活かしたベンチマーク分析と具体的な改善の取組を共有

- ・救急医療管理加算
- ・難病患者等入院診療加算 等

■新規・上位施設基準の取得

- ・感染対策向上加算
- ・医師事務作業補助体制加算 等

支出削減

■共同購入

- ・医薬品・検査試薬
契約ごとの品目の組み合わせを工夫
- ・放射線機器等の一括保守契約
業務委託内容の見直しにより委託費上昇を抑制・削減
- ・ガスの一括契約による割引適用
- ・事務用品、オンライン研修の共同購入

■国立大学病院等との共同調達事業

東京都立病院機構、国立大学病院長会議（NUHC）、地域医療機能推進機構（JCHO）、自治医科大学病院本院が参画

■DX関連業務の内製化

令和6年度下期の下記作業について、ベンダー委託からDX推進センターによる内製化へ移行

- ・システムサーバー構築
- ・端末キitting・設置作業 等

■委託等契約内容の見直し

- ・コンサルティングを活用した
業務委託費等の見直しを実施（多摩北部）
- ・多摩メディカルキャンパスPFI事業の第二期移行に伴い、運営業務範囲を見直し
医薬品および診療材料の購入、光熱水費契約を直営化
委託業務内容の見直し
（清掃・医療作業、検体検査、医事業務、洗濯）

自律的運営に向けた主な取組

投資の抑制

■維持管理工事・医療機器更新等

- 医療機器の購入や施設の修繕等を原則として抑制
- 1億円以上の医療機器の購入や施設の修繕等は、経営戦略推進会議に付議し、投資の可否を決定

維持管理工事（既存改修等）

- ・ 病院において必要性が高いと判断された工事についても、法人本部で一件別で判定
- ・ 法令順守のために必要な工事や、患者等の安全に重大な影響があるもの以外、原則として先送り

医療機器更新等

- ・ 病院において更新の優先順位を検討後、高額機器については法人本部でも一件別で判定
- ・ 病院で抑制した要求額から、更に法人本部で20%シーリングを実施

DX推進事業

- ・ DX推進計画において定めていたWi-Fi整備やスマートフォン導入に関し、優先順位を決めて整備

■電子カルテシステム更新時のベンダー統一及び仕様標準化

パッケージ標準仕様・14病院共通仕様・統一ベンダーでの導入、ネットワーク機器等の調達方法見直し等により費用抑制

柔軟な病床運用と適正な人員配置

- ・ コロナ禍後の受療動向の変化等により病床稼働率が低迷する中、医療資源の有効活用の観点から患者数に応じた柔軟な病床運用を徹底
- ・ 一般病床においては、85%以上の病床稼働率を目指し、運用

柔軟な病床運用を踏まえた上で、都立病院の役割や機能、今後の医療需要等も見据え、人員配置のあり方について検討

<検討の方向性>

- ✓ 各病院の収支目標を達成可能な人員配置
- ✓ 今後も都立病院の役割を果たすことのできる人員配置
- ✓ 都立病院と同規模の他団体等の状況も考慮（専門病院は除く）

病院間異動や採用等により、適正な人員配置を実現

- ・ 退職動向や年齢構成、育成の観点を踏まえて順次実施していくため、一定期間が必要
- ・ この間、一時的に余剰となる人員は、例えば高稼働率であるなど、繁忙度の高い病院への異動等で有効活用

地域ニーズを踏まえた主な取組

- 地域の多様なニーズを踏まえ、都立病院の人的資源・ノウハウ・ネットワーク等の資源を最大限活用しながら様々な取組を展開
- 公的な医療機関として、地域や都民の健康づくりに積極的に貢献

地域への貢献

■こころとからだの病気に関する看護相談

「ふらっと」（松沢）

- ・ 専門看護師・認定看護師による看護相談を無料で実施
- ・ 自宅療養や治療に関する不安や困りごと、病気との向き合い方などの相談に対応
(令和6年度実績：760件)



■不妊治療相談窓口

（大塚・豊島・荏原・墨東・多摩）

- ・ 不妊治療を希望する人の不安や悩みに対応するため、産科のある都立病院において不妊治療に係る電話相談を実施
- ・ 主な相談内容
治療費や助成金などの費用面、不妊治療への不安、治療方法の悩み 等
(令和6年度実績：33件)

■緊急時アレルギー相談ダイヤル（多摩北部）

- ・ 教育・保育施設における園児、児童のアレルギー発症時に教職員、保育士等が的確、迅速な対応を行えるよう、市の要請を受けて、アレルギー症状の対応や救急搬送受入れなどに関する相談・助言を実施

都民の健康づくりへの貢献

■Tokyoヘルスケアサポーター養成講座

- ・ 病気の予防や医療、健康づくりについて、都立病院の医師や看護師等がわかりやすく解説した講演会を開催
(令和6年度実績：2回開催、368名参加)
- ・ 都やJKK東京と連携し、地域住民の健康で心豊かな生活をサポート
認知症をテーマとした講座を開催

■医療・健康コラムの発信

- ・ 医療専門職の知見を生かしたコラムを制作し、ホームページやSNS、広報紙等を通じて積極的に発信
(令和6年度実績：28本公開
37,495回閲覧)

健康寿命を延ばす秘訣はお口の健康にあり！

お口の機能が衰える
オーラルフレイル
ってなんですか？



■出前講座

- ・ 一般都民や地域の医療・介護・福祉機関からの多様なニーズを受け、認知看護師や薬剤師等が地域に出向いて研修や勉強会を実施

■市民公開講座（全病院）

- ・ 医師会や地元自治体等と連携して、医師や認定看護師等が住民ニーズに応じた公開講座等を開催